

#後の数字は回数 ※韓国・台湾ドラマは日本語字幕版となります。 ※都合により番組内容、放送時間を変更させていただくことがあります。ご了承ください。

Table with 5 columns (1水 to 5日) and 24 rows of program listings including titles like '八百八町夢日記' and '黄金のポケット'.

Table with 4 columns (11土 to 15水) and 24 rows of program listings including titles like '黄金のポケット' and 'アテンションLOVE'.

Table with 4 columns (21火 to 25土) and 24 rows of program listings including titles like 'それからの武蔵' and '八百八町夢日記'.

Table with 1 column (31金) and 24 rows of program listings including titles like '鬼平犯科帳' and '翔べ!必殺うらごろし'.

■ サスペンス劇場 (地方記者 立花陽介シリーズ)
水谷豊が、転勤先で起こる事件を解決する新聞記者を演じた大人気シリーズ(全20作品)を放送!
地方記者 立花陽介シリーズ⑩「箱根小田原通信局」
8/6(月)後0:15~2:00 他
☆再放送:8/10(金)後0:15~2:00
脚本:坂田義和 演出:吉川一義
出演:水谷豊、森口瑤子、片桐竜次、美保純、有馬稲子 他
箱根小田原通信局に赴任した陽介は、老舗旅館の若女将・里美と親しくなる。里美は夫亡き後、大女将・静江と旅館を切り盛りしているが、旅館周辺には再開発の波が押し寄せていた。そんな中、陽介も見覚えがある不動産業者・城山の死体が、芦ノ湖畔で見つかる。江間刑事らは当初、スナック店員・杏子に注目するが、確たる証拠がない。実は陽介は、事件直前、一緒に出かける里美と城山を目撃していた...

■ サスペンス劇場 (だます女だまされる女シリーズ)
竹下景子や余貴美子が真相解明に挑む主人公を演じた人気シリーズを放送!
だます女だまされる女「消費生活相談員vs悪徳商法の女社長」
8/20(月)後0:15~2:00 他
☆再放送:8/24(金)後0:20~2:00
脚本:宇山圭子 演出:松島哲也
出演:竹下景子、布施博、渡辺梓、永島暎子、小沢和義、羽場裕一 他
聡明で責任感の強い消費生活相談センターのヒロインが事件解決に挑む。晴奈は消費生活相談センターの相談員。晴奈のもとに主婦の弘江が相談にやってきた。弘江は晶子の会社に騙され、100万円を超える金を払ってしまったという。晴奈は弘江の夫・西条に打ち明けるよう助言。また、晶子の会社を訪れ、販売方法の改善を求めた。数日後、晶子が襲われる事件が発生。目撃証言から西条に容疑が向けられて...



© オセロット



© G・カンパニー



Table with 5 columns (6月, 7月, 8月, 9月, 10月) and 6 rows of program listings. Each cell contains a list of programs with their start times and titles.

2ヶ月連続企画(リクエスト・ドラマ特集)
ヒット作・話題作・懐かしの名作の中から、特にリクエストの多かった作品をセレクトして一挙にお届け!
「藤子不二雄の夢カメラ」
8/12(日) 後11:10~深0:25
原作:藤子不二雄 脚本:市川森一、金子成人、松原敏春
演出:久世光彦、猪原達三、澤本均
出演:小泉今日子、中山美穂、荻野目洋子、イツセー尾形 他

時代劇
それからの武蔵 (全13話)
8/7(火) スタート!
毎週(火) 前9:45~11:45 他(2話連続)
☆再放送: 8/7(火)より 毎週(火) 後7:00~9:00(2話連続)
8/14(火)より 毎週(火) 前4:00~6:00(2話連続)
原作:小山勝清 監督:沢島正継
出演:萬屋錦之介、酒井和歌子、中村嘉律雄、梶芽衣子、島英津夫、目黒祐樹 他

国内バラエティ
俺旅。シーズン4 (全10回)
8/17(金) スタート! 毎週(金) 深1:45~2:15
☆再放送: 8/24(金)より 毎週(金)後6:00~6:30
出演:【ロサンゼルス編】村井良大、佐藤貴史
【ハワイ編】黒羽麻璃央、崎山つばさ



© 藤子プロ/フジテレビジョン



その生涯において戦うこと六十数度、一度も敗れなかった宮本武蔵の激しい生きざまと、武蔵を取り巻く者たちの運命をダイナミックなタッチで映像化している。武蔵が慶長17年に宿敵佐々木小次郎を倒してから、62歳で死ぬまでのほぼ30年間は、丁度、徳川幕府が混乱から安定に向かう過渡期であった。この時代の流れの中で、宮本武蔵の兵法修行は、剣一筋の肉体鍛錬にとどまらず、精神面での充実を目指した。それは武蔵の大きな成長であり、また新たな苦闘の始まりでもあったのである...



© 2018「俺旅。」製作委員会